



Share Rotary—
Serve People

みんなにロータリーを
みんなに奉仕を



会長 内山喜一 幹事 齋藤 隆 副会長・クラブ奉仕 佐藤順治 職業奉仕 石川寿男 社会奉仕 佐藤 衛 国際奉仕 三井 健 青少年奉仕 小池繁治

出席報告：会員 73 名 出席 55 名 出席率 75.34% 前回出席率 65.75% 修正出席 61 名 確定出席率 83.56%

会 長 報 告

内 山 喜 一 君

このたび、風間真一さんからボール・ハリス・フェロー 1,000 \$ のご寄附がありました。早速 R.I. への送金、その他手続きをさせていただきます。財団への協力が加速されているように思います。前ロータリー財団委員長佐藤衛さんのご功績および現委員長の富樫良吉さんのご活躍は高く評価されるものと思います。ありがとうございました。

ゲストスピーチ



お願いとご報告に参上しました

第 1 点は先般 17.18 日に赤湯において、来年の R.Y.L.A. の研修会をどうするかの打合会を実施しました。

その際決定したことは、後日各クラブに詳細に送付しますが、簡単ですが内容を説明します。

実行委員会の組織については、地区の青少年正副委員長と地区の担当分区代理ということで置賜分区の大峽さんがあたります。又、地区の R.Y.L.A. 委員柿本さんほか 4 人が委員ということになります。

それから、カウンセラーとして各分区から 2 名出してほしいとの要請があり、一番大きいクラブの鶴岡さんと酒田東さんの会長をお願いしましたが、青少年委員長若しくはその経験者ということで、当クラブからも選衡をお願いします。ホストクラブは若干名ということで 5 名になります。

幹 事 報 告

齋 藤 隆 君

- 第 253 地区ロータリー財団校友会より
 - 8 月に行われた第 5 回ロータリー校友会年次大会の報告書到着
 - 校友会会員名簿到着
- ロータリー名言カレンダー申込書到着
 - 定価 1,200 円
 - 申込みメ切 11月30日 事務局まで

庄内分区代理 伊 藤 政 一 君

ゼミナーとしては研修生の代表委員として、山形天童の川崎徹君と山形の伊藤緑さんがリーダーということで決まりました。

今回の研修会のテーマは「希望」と決定しました。ゲストの先生は松原秀雄さん（山形西）と足達清さんのお二方がなります。実技の担当リーダーは井上博夫さん、洋上大学の先生をやられた営林署の職員の方だそうです。

研修会は 59 年 5 月 8 日(火) 9 日(水) の 2 日実施することに決まりました。場所は山形県の飯豊少年自然の家で、登録料は 5,000 円です。参加の範囲は 1 クラブから 3 名以上推薦していただくこと。うち 1 名は義務出席者として青少年担当委員の方をお願いしたい。ほか 2 名については、一般の団体の方でもよろしいが、出来ればロータリアンの職場の方を推薦願いたいと思います。交換学生のいるところは交換学生をお願いします。

もう 1 点は、来年 1 月 22 日に酒田産業会館で 2 年以内の新入会員の研修会を実施することで準備を進

庄内空港の建設を推進しましょう

めていますが、何分大変な行事ですので、当クラブにも協力をお願いしたい。現在登録会員が88名。そのほかに各クラブの義務出席者として会長、幹事、ロータリー情報委員長は出席することになります。準義務出席者としてクラブ奉仕委員長と会長エレクトは出席して下さい。時間は午後1時30分から2時まで登録、2時から4時まで研修会、4時から5時30分まで懇親会というスケジュールで進めておりま

会員スピーチ

ロータリー財団について

石黒慶之助君



ロータリー財団の最新資料はロータリーの友11月号に発表されておりますが、わが地区として、わがクラブとしての現況を加えて報告させていただきます。

- 1) 財団創立以来全世界の寄付額合計 157,206,008 ドル
- 2) 財団創立以来日本の寄付額合計 39,995,752 ドル内、第 253 地区の分 1,077,277 ドル
鶴岡 R.C. 分 37,631 ドル
- 3) 昨年度中の全世界の寄付額合計 19,035,106 ドル
- 4) 昨年度の日本の寄付額 4,329,165 ドル、地区の合計は 126,216 ドル 84 セント、鶴岡 R.C. では、7,655 ドル 77 セントとなり、1 人当り 10,487 ドルとなって、地区内第 1 位。
- 5) 全世界のポール・ハリス・フェロー総数 91,399 名、地区内 517 名、鶴岡 R.C. には現在 19 名。
- 6) 昨年度中の全世界のポール・ハリス・フェローは 13,588 名増加、地区内では 62 名増加し 517 名となった。鶴岡 R.C. では 4 名増で、更に今年度 5 名で 24 名。
- 7) 財団創立以来授与された奨学金、3 H プログラム、補助金などに支給された金額は 100,511,032 ドル
- 8) 財団創立以来の全世界の財団奨学生総数 14,900 名。

す。それ以外については、先般分区内の会長幹事の集まりの際色々連絡事項がありますが、後程例会でご報告があると思います。是非新入会員の方々の参加をお願いします。

この半年間 I.G.F. 公式訪問などありましたが、皆様の御協力のおかげで大過なくやって参りましたことをお礼申し上げます。

- 9) 財団創立以来の日本から選ばれた学生数は、1,520 名。当 R.C. からは 1970 年石黒敏明君と、1975 年に菊池敏君を出している。
- 10) 前年度日本から選ばれた財団奨学生は 171 名であり、地区からは 4 名、更に多くの奨学生を送り出したい。
- 11) 研究グループ交換計画は創立以来全世界に 8,670 名参加している。
地区では明年、明後年には受入れ、派遣を計画
中。当クラブよりは 1972 年に本間利雄氏、1976 年に進藤昇氏を参加させている。

ロータリー財団については、鶴岡 R.C. は特に関心が強く、よく理解しておられますので、復習の意味で財団事業について簡単にまとめておきます。

昨年、張紹淵地区財団推進委員長が「ロータリー財団の推進」として論文を発表しており、これをご覧になれば極めて明確にご理解できると思います。

財団の事業を要約すれば次の 4 つであります。

- (A) 奨学金
 1. 大学院課程奨学金
 2. 大学課程奨学金
 3. 職業研修奨学金
 4. 心身障害者の教師奨学金
 5. ジャーナリズム奨学金
- (B) 研究グループ交換
- (C) 特別補助金
- (D) 保健飢餓追放及び人間尊重のプログラムのため

の補助金

私は、鶴岡R.C.の赫々たる業績を称えと共に、今まで数々の優秀な先輩を失っても、これに続く素晴らしい会員が続々と輩出しつつある現状を知り、非常に感激しております。私は何処へ行っても鶴岡R.C.の会員であることに誇りを持たせていただいております。

委員会報告

・N.B.からのお便り

新穂光一郎 君

N.B.のローカル紙ホームニュースの切り抜きをD.ハイラインさんから送られてきましたのでご紹介します。

題名は「N.B.に日本の感触をもたらしたティーンエイジャー」となっています。中味を要約すると、「N.B.に18才になる日本の女子学生がやってきた。彼女に言わせると、日本人とアメリカ人は大部分はそう変りはない。もし差があるとすれば、日本人は感情を押えるが、アメリカ人は卒直に出すということだとのこと。彼女は古いものと新しいものをゴッチャに持っているような女性である。彼女が一番びっくりしたのは、アメリカ人は本を投げたり、腰をかけたり粗末に扱うということ。日本では本は神聖化されているとのことである。

彼女が今もっとも関心を持っているのは、ロバート・プラント、レッド・ツェッペリン、ブルース・スプリングステンなどというヘビーメタルロックのバンドのグループだということである。」

今ここにある写真は、ジェームス・マクルーリンさんのご家族です。左右にいるのは16才と25才のお嬢さんのようです。

「彼女はアメリカに来るとき当地の自動車学校に入り運転免許をとる予定であったが、費用が1,000ドルかかることと、ロータリー交換学生は自動車運転を禁止されているとのことでごっかりしています。

彼女の英語力は大層向上しているが、恥じらいがあるのかももう一歩である。彼女はラトガース大学に通学しています。

マクルーリン家では、文化習慣の違う国から来ている彼女に何をしてやれば一番喜ばれるかと相談した結果、彼女の発案でステートンアイランド・フェリー（マンハッタンからリッチモンド間）に乗りたいという希望が出たので、これをやる予定だとのことでした。

ロータリアンは、来年は交換学生や若い実業人の交換のプログラムも考えなければということがロータリークラブの中で話し合われています。

N.B.は鶴岡と姉妹クラブ関係をもっています。それは、ジョセフ・クラークさんが20年程前に鶴岡を訪問したことに始まる。ミス新穂の父君は建築家で、1982年に実業団としてここに来ています。彼は特にJ&Jという会社のヘッドクォーターを大変興味深く見ていったようです。これはI・M・パイさんの設計になるものです。彼は都市の建築家のドン・ガター氏と親好を深めているようです。恐らく彼が当地に来たことで恵さんの留学が決まったようです。」

・ロータリー財団寄付金

本日集った寄付金は12,957円でした。ありがとうございました。

・次回スピーチ

N.B.に関する三井徹君のスピーチを予定しています。

- ・去る11月16日の庄内分区会長幹事会で、ロータリー財団への寄付の方法について一部改正があったむね報告がありました。（——部分追加）

財団への寄付の方法

1. ポール・ハリス・フェロー（PHF）

自分自身がPHFになるために1,000ドルを寄付してもよいし、ロータリアン以外の人にPHFの名誉を贈るために、1,000ドルの寄付をロータリアン個人、又はクラブが行なってもよい。

2. ポール・ハリス・準フェロー

準フェローとなるには、PHFとして認証され

るのに要する寄付額の最低の10分の1を寄付し、10年以内に残額を寄付してPHFになることを承諾しなければならない。そして、毎年その誓約による督促状を受け取ることを了承し、新しい準フェローの会員からは少なくとも毎年100ドルの寄付追加を奨励される。即ち従来のように100ドルを寄付して準フェローになったきりで、その後の寄付を続けないというのでは、準フェローの資格がないことになる。

3. 「R.I.財団の友」制度

この制度は、各クラブが自主的に「自分のクラブは年度の初めに、前年度の入会者は10ドル、在籍者も10ドル（以前は1ドルであった）を財団に毎年寄付をします。」という約束をすることにより、財団よりそれを認めた旨の証書を送付される制度である。

4. メモリアル・コントリビューター

故人を追悼して1年以内に100ドルの寄付をした個人、及びクラブ（昨年より新しく加わった）に、メモリアル・コントリビューターの称号を与える。

5. 「寄付者名義奨学金制度」又は「冠名一財団奨学金」の設定

財団管理委員会は、1982年10月の会合において、奨学金として実際に要する金額をロータリー財団へ寄付された個人、或いは団体の名前を冠した奨学金を授与する計画を承認した。……財団もアノ手コノ手で寄付増を図っている。……

「ロータリー財団の友」の制度の変更

この「ロータリー財団の友」と称する制度は各クラブが自主的に「自分のクラブは年度の初めに、前年度中に入会者は10ドル、在籍者は1ドルを財団に毎年寄付をします」という約束をすることにより、財団よりそれを認めた旨の証

書を送付される制度であります。昨年7月1日より財団は新入会員10ドルに対し、在籍会員も10ドル、つまり10:10の寄付を毎年行うクラブでなければ「財団の友」と認めないということを決めました。しかし「財団の友」になったからといって特別の恩典は何もありません。地区の全クラブが10:10の寄付をする「財団の友」クラブになればその地区は「財団の友」地区と認められることとなります。

スマイル

森田清治君 商工会議所の◎制度の発足から多大の功労があったということで、日商会頭賞を受賞したので。

伊藤政一君 分区代理になって約半年。この間皆様に色々迷惑をかけたお詫びの意味で。

庄司嘉男君 中小企業基本法制定20周年記念にあたり、多大の功績があったということで中小企業庁長官賞を受賞したので。

ビジター

酒田R.C. 伊藤政一君（分区代理）

立川R.C. 滝 禅源君

温海R.C. 渡部晃雄君・斎藤新作君

鶴岡西R.C. 斎藤健治君・菅原年雄君

菅井幹雄君・加藤有倫君

帯谷義雄君・野口 弥君

長野正彦君

余目R.C. 佐藤孝二郎君

（今週の担当者 佐々木栄一）